

発行後の更新情報

本書発行後の薬価やガイドライン改訂に伴う更新情報や誤植などの訂正情報をお知らせします。

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
1. 「ARB」と「ACE 阻害薬」、同じ降圧薬の違いは？					
p16	advice 下から2行目	また、「ARB」には後発(ジェネリック)医薬品がないものもあるため、「ACE阻害薬」の後発品を選ぶことで医療費は大きく抑えることができます。 しかし、後発(ジェネリック)医薬品は錠剤の大きさや味、舌触りなどが先発医薬品と大きく変わることもあります。高血圧の治療は長く続くため、経済的負担が少なくなるだけでなく、飲み心地の点でも続けやすい薬を提案することが大切です。	一方で、Ca拮抗薬や利尿薬との配合剤のほか、ネプリライシン阻害薬「サクビトリル」と一緒になった『エンレスト』も登場しており、臨床での存在感は大きくなっています。 薬物治療を続けていく上で、“経済的な理由”や“錠剤の多さ”はよく問題になりますが、個々の患者の事情も踏まえた選択をすることが大切です。		23/01/20
p17	こぼれ話	ACE阻害薬の使用は、ARBの使用と比べて肺癌リスクを少し高めるという報告があります(BMJ, 363:k4209, 2018 [PMID 30355745])。	ACE阻害薬の空咳は、薬の中止で通常4週間以内に治まり、再開時には起こらないこともあります(Chest, 129(1Suppl): 169S-173S, 2006[PMID 16428706])。		23/01/20
20. 『エフィエント』と『ブラビックス』、新旧の抗血小板薬の違いは？					
p92	本文上から9行目	『エフィエント』は新しい薬のため、まだ「心臓」領域にしか適応症はありません。しかし、『ブラビックス』は古い分、すでに世界でも広く使用され、使用実績が豊富です。そのため、「脳」・「心臓」・「末梢」の3つの領域で適応症をもっています(ジェネリック医薬品では異なる場合があります)。	『エフィエント』は新しい薬のため、まだ「心臓」と「脳」の領域にしか適応症はありません ⁶⁾ 。しかし、『ブラビックス』は古い分、すでに世界でも広く使用され、使用実績が豊富です。そのため、「脳」・「心臓」・「末梢」の3つの領域で適応症をもっています ¹⁾ (ジェネリック医薬品では異なる場合があります)。		23/01/20
p92	中段の図			赤枠部を修正	23/01/20
p92	本文上から13~19行目「■適応症」の段落		削除		23/01/20
p93	添付文書、インタビューフォームの比較	◆適応症 (エフィエント) 1.心臓…経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される急性冠症候群、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞	◆適応症 (エフィエント) 1.脳…虚血性脳血管障害(大血管アテローム硬化または小血管の閉塞に伴う)後の再発抑制(脳梗塞発症リスクが高い場合に限る) 2.心臓…経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される急性冠症候群、安定狭心症、陳旧性心筋梗塞		23/01/20
23. 『フェブリク』と『ザイロリック』、同じ尿酸生成抑制薬の違いは？					
p104	こぼれ話		痛風の5年発症頻度は、尿酸値(mg/dL)が6台で0.6%、7台で2.0%、8台で4.1%、9台で19.8%、10以上で30.5%とされています(Am J Med, 82:421-426, 1987 [PMID 3826098])。	こぼれ話を追加	23/01/20

24. 『ロキソニン』と『ボルタレン』，同じ鎮痛薬の違いは？					
p106	こぼれ話		2020年10月に，FDAは妊娠20週以降のNSAIDs使用を避けるよう注意喚起を出しています．これは，胎児の腎臓への影響を考慮しての対応です．	こぼれ話を追加	23/01/20
47. 『バルトレックス』と『ゾビラックス』，同じヘルペス治療薬の違いは？					
p203	こぼれ話	1日1回の服用で帯状疱疹を治療できる『アメンアリーフ(一般名:アメンメビル)』が2017年7月に登場しています．	1日1回の服用で帯状疱疹を治療できず，腎機能障害がある人でも使いやすい『アメンアリーフ(一般名:アメンメビル)』が2017年7月に登場しています．		23/01/20